

## 平成29年度 自己評価及び学校関係者評価書

## 本校の重点目標

- (1) 自己を高め、目標に向かって、自己実現を図ることができる生徒を育てる。  
 (2) 意欲・熱意を持って主体的に学習し、興味・関心を深く探究する生徒を育てる。  
 (3) 主体的に自己の生き方や進路について探究し、様々な困難を乗り越える逞しい生徒を育てる。  
 (4) 規範意識を身につけ、勤労を尊ぶ、有為な社会人として自立していける生徒を育てる。  
 (5) 多様な価値観を受容し、他者を認める寛容な心を持ち、豊かな人間関係を築ける生徒を育てる。

## 本校の経営方針

教職員は情熱を持ち、信頼される教育者としての使命を自覚し、各種研鑽に努めるとともに、次のことを考慮した経営体制を整える。

- (1) ガイダンス機能を充実させ、HR複数担任制や小グループ担任制をとる。  
 (2) スクールカウンセラーの配置と各種相談体制を整える。  
 (3) インターンシップ等を積極的に導入する。  
 (4) 学校行事・部活動等は、三部合同を基本とし、共通の活動時間を確保する。  
 (5) 教育関連施設や家庭・地域等と連携し、双方向の協力体制を確立する。

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善方向	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
総合	大通高校での学校生活に対する安心感。高校入学前と比べての人間関係の広がりや活動の変化について。  生徒評価 3.2 保護者評価 3.4 教員評価 3.2	A	本校での生活に対しては生徒・保護者・教職員とも全体的に高い評価をしている。今後も、「生徒が安心して通える学校」としての雰囲気維持していくことが望まれる。また、入学後に友人関係の広がりや活動が積極的になってきた、という評価を保護者や生徒から得られた点は、大通高校の教育効果だと考えられる。今後も多様な生徒への柔軟な対応力を継続していく。	A	A
学校関係者評価者による意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒・保護者・教員の三者が共通認識を持って取り組まれた成果が表れていると思います。今後の「私の学校」という愛着の持てる場であってほしいと願っています。</li> <li>・保護者の評価が高いことは、大通高校の社会的なニーズが高いことの反映と考えられる。</li> </ul>				
学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容の理解度について</li> <li>・単位修得状況について</li> <li>・学力の定着について</li> <li>・授業のわかりやすさ</li> <li>・基礎基本を定着させる学び直しについて</li> </ul> 生徒評価 3.0 保護者評価 3.0 教員評価 2.7	B	授業理解、単位修得に関して、生徒からの評価は3.0であるが、教員の評価は2.7であり評価に差がある。アンケートを提出した生徒は良好な学習状況だと伺えるが、教員は未提出者を含めて判断したためであろう。教員は「わかりやすい授業」をめざし授業を展開しているが学習習慣や学力差の広がり大きく、「進学に対応できる学力」を望む保護者も多いことから、指導内容のあり方を今後も検討し工夫していく。	A	A
学校関係者評価者による意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりに応じた学びが得られるよう今後も工夫・改善を期待します。</li> <li>・先生方のマンパワーは有限なので、ある程度の優先順位をつけていくのが現実的だと思います。</li> <li>・通学に向けての学習と学び直しは表裏の関係であり、今後も方向性に向けての議論が必要である。</li> </ul>				

<p>キャリア・進路指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や校内外で学習した進路についての話を参考にする</li> <li>・予備校や塾の利用</li> <li>・職場体験やインターンシップについて</li> <li>・保護者の進路意識</li> <li>・進路に応じた科目設定</li> <li>・進路指導につながるキャリア教育</li> </ul> <p>生徒評価 3.0 保護者評価 3.2 教員評価 3.0</p>	<p>A</p>	<p>昨年度に比べインターンシップ、職場体験についての認識は三者とも高まった。生徒も様々な場面で進路意識を高めていると考えられる。今年度の反省(インターンシップの実施時期、実施方法など)生かし、キャリア教育の内容を修正・整理しさらに有意義なものにしていきたい。模擬試験の受け方など、進学意識を高める指導も検討していく。</p>	<p>A</p>	<p>A</p>
<p>学校関係者評価者による意見</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・目先の進路を越えてキャリア探究できる力を目指してほしい。</li> <li>・保護者への質問項目とアンケート評価への反映が不明瞭。今年度の反省は何であったのか明確にしてほしい。</li> </ul>			
<p>多様な支援と外部連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員との関わり</li> <li>・教員以外の大人(カウンセラー等)との関わり</li> <li>・保護者の学校運営への参加</li> <li>・生徒へのサポート体制</li> <li>・生徒の関する教員間での情報共有</li> <li>・カウンセラーと学校の連携</li> <li>・保護者への学校運営への参加仕組みの理解</li> </ul> <p>生徒評価 2.8 保護者評価 2.9 教員評価 3.1</p>	<p>B</p>	<p>教員との関わり、カウンセラーとの関わりについて三者とも平均以上の評価をしていることから、「連携・支援」に関して、目的に達していると考えられる。特に教員間の情報共有、カウンセラーとの連携については好ましい結果が現れており、継続が望まれる。保護者との関係性を深める方策を検討していきたい。</p>	<p>A</p>	<p>B</p>
<p>学校関係者評価者による意見</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合評価が高いにもかかわらず、本項目でのスコアが低いのが合致しない。ある意味、大通高校の特色の部分ではないのか。</li> <li>・社会から隔離された空間ではなく、社会に開かれた学校として引き続き期待しています。</li> </ul>			
<p>生徒指導・特別教育活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の人間的な成長</li> <li>・大人への信頼</li> <li>・学校生活への期待</li> <li>・基本的なマナー・礼儀の定着</li> <li>・諸活動を通しての生徒の成長</li> </ul> <p>生徒評価 2.8 保護者評価 3.4 教員評価 3.2</p>	<p>A</p>	<p>「伸び伸びと学校生活を送って欲しい」という保護者の思いに対し、教員は「生徒の人間的な成長」を感じている。生徒も自分自身の成長を認識している。適切な生活指導、生徒指導、特別活動が実践されていると評価できる。生徒の自己有用感が向上するよう、今後も生徒理解に基づいた大通高校らしい教育活動を継続する。</p>	<p>A</p>	<p>B</p>
<p>学校関係者評価者による意見</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方が高く評価されているように、一人ひとりが自分を見つめ成長している自信を深めていってほしいと思います。支えられている教職員の皆さまが学校というチームで協働され、今後さらに大通高校らしさを追求していただきたい。</li> <li>・生徒の評価が低いのが残念である。</li> </ul>			
<p>大通高校として評価を受けて今後の課題</p>		<p>A評価の項目については、今後も活動を継続していくべきだと考える。昨年度B評価の項目であった「学習」「キャリア・進路指導」については、今年度は改善が進んだと評価したい。「キャリア教育」については新たな取り組みに着手することができたが、今年度の取組を整理し次年度につなげていきたい。「学習」に関しては学力差の大きな集団への指導方法を検討、工夫していかなければならない。保護者との関係性を深め、教育活動の様々な場面を通し生徒の自己有用感を高めていきたいと考える。</p>			

<評価> A:よく達成されている B:ほぼ達成されているが改善も必要 C:不十分である  
(A 4.0～3.1 B 3.0～2.1 C 2.0～)